

議会報告会実施報告書

開催日時	平成25年10月31日 19時00分 ～ 20時30分
開催場所	林田公民館
出席議員	(班長) 東山光徳 (司会) 出田泰三 (記録者) 若谷修治 (副議長) 若杉輝久 (班員) 斉藤義明, 出田泰三, 若谷修治, 脇 芳美, 若杉輝久 松成国宏
参加市民数	46人
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 若杉輝久 ・出席議員自己紹介 ・委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> 総務消防委員会 斉藤義明 教育民生委員会 若谷修治 市民建設委員会 脇 芳美 新庁舎建設特別委員会 松成国宏 ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 東山光徳
	<p>質疑応答</p> <p><質疑> 新病院また新庁舎建設も必要だが、それに伴って住民税が上がらないのか。</p> <p><答弁> 企業誘致、行財政改革、財政健全化等を行い住民税が上がらないように取り組んで参ります。</p> <p><質疑> 議員報酬は下げないのか。</p> <p><答弁> 議員報酬について9月定例会において議員4名からの議員提案は出ましたが、東日本大震災義援金、これまでの段階的な定数減、費用弁償廃止、議員年金廃止等の様々な協力をしている。議員報酬は半年間だけ下げるべきものではないなどの意見で提案を否決しました。</p> <p><質疑> 市議会だよりに一部分かりづらい部分がある。</p> <p><答弁> 分かりやすい表現を検討します。</p> <p><質疑> 「坂出市子ども・子育て会議」の構成内容、選出方法、なぜ会長が経済学部の教授小松秀和氏なのか、傍聴は可能なのか。</p> <p><答弁> 構成員は18人。保・幼・小の保護者、私立保・幼の園長、各種団体関係者、公募市民。経済学部教授 小松秀和氏は坂出市次世代育成計画及び地域福祉計画、介護計画などに携わっており本市の実情に精通している。傍聴可能。HPで公表。</p>

	<p><質疑> 債権放棄については。議会にどの程度報告があったのか。どのようにこれからの経過を見守るのか。</p> <p><答弁> 評価損として市が負担せざるを得ない。土地開発公社決算の報告を受けている。どのように土地を処分していくか見守る。</p>
意見交換	<p><意見> 議員定数について。</p> <p><答弁> 議員定数の考え方として、人口・地区・面積に対して、議会としての機能（チェック機能・議決機能など）を低下させないために、委員会構成人数は、総合的に考えて坂出市議会として何名が適正なのか。できれば12月定例会中に結論を出したい。</p> <p><意見> 少子高齢化が坂出市に与える影響について。</p> <p><答弁> 生産人口の減少は、様々なダメージが生じます。人口減少にどのように歯止めをかけていくか。他市町と差別化し人口流出を止める。また、婚活の取り組みを活用いただきたい。</p> <p><意見> 新市立病院の駐車場誘導について。</p> <p><答弁> 貴重なご意見として担当部局と十分に協議いたします。</p> <p><意見> 市内の保育所待機児童の状況について。</p> <p><答弁> 坂出市は3名です。0歳児1歳児の保育士一人当たりに対する保育可能な児童数が少なく、また保育士不足も重なり0歳児1歳児が待機児童になりやすい傾向にあります。</p> <p><意見> 防火用水、消火栓の点検整備について。</p> <p><答弁> 消防本部と相談して、検討します。</p> <p><意見> 遊休農地問題について。</p> <p><答弁> 大きな問題となっていると認識している。農業委員会と協力して、意欲的な農家に集積するなど取り組んで参ります。</p> <p><意見> 市民の声が届く議会とは。市民の声をどのように聞くのか。女性の声を反映してほしい。</p> <p><答弁> 議会改革の目的のひとつが、市民の皆さんのご意見を幅広く聞くということです。女性のご意見も反映していきたい。</p> <p><意見> 農業委員会の女性枠を拡大してほしい。</p> <p><答弁> 全国的にも女性の農業委員は増えています。議会でも協議したいと思います。</p> <p><意見> 新病院に知的障害者を診てくれる医師を確保してほしい。</p> <p><答弁> 貴重なご意見として検討します。</p>